ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

a

男子・女子 回戦 準々決勝・準決勝・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 A コート

チーム名		総得点			総得点	チーム名	
岩国工業高等学校		21	13	—	13	30	法政大学第二高等学校
			8	—	17		
				—			
				—			
				—			
			7mTC				

選抜大会の常連校同士の一戦は岩国工業のスローオフで開始された。先制は岩国工業 6 番村岡。鮮やかなシュートがゴールネットに突き刺さった。その後両チームが点を取り合い 3-3 の同点で迎えた前半 6 分、法政第二の 2 番藤田が得点を決めた際に岩国工業 4 番品川が 2 分間退場をしてしまう。数的優位に立った法政第二がこの機を逃さず 4 連続得点を決め、一時は 3-8 の 5 点にまで差が広がった。5-8 で迎えた前半 15 分、今度は法政第二の 14 番西が 2 分間退場となる。西の退場中に 2 点差まで差を縮めた岩国工業は前半 21 分に同点に追いついた。一進一退を繰り返した攻防の末、結局前半は 13-13 の同点で終えた。後半 1 点目は法政第二 10 番白築。左サイドから放たれた美しいループシュートがゴールネットに吸い込まれた。勝負の分かれ目となったのは 15-14 の岩国工業 1 点リードで迎えた後半 4 分。岩国工業の 7m スローを法政第二のゴールキーパー 1 番高橋が見事セーブすると、法政第二がそこから 4 連続得点。波に乗った法政第二は最後の最後まで攻撃の手を緩めず、見事前年度の選抜優勝校を破り、準決勝にコマを進めた。

2017 年 3 月 27 日

記載者氏名 中村 陽一

ジャパネット杯 平成28年度 第40回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

b

男子・女子 回戦 準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 B コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
愛知高等学校	27	12	—	12	氷見高等学校
		15	—	16	
		—			
		—			
		—			
		7mTC			
			28		

大会4日目準々決勝第2試合は、東海ブロックを1位で突破しベスト8に駒を進めた愛知高校と連日の接戦を勝利し勢いに乗る北信越ブロック代表富山県立氷見高校の対戦。開始直後氷見高校9番中村のミドルシュートが決まるが、愛知高校も7番藤井のミドルシュートで対抗。双方とも譲らない緊迫した立ち上がりとなった。前半10分を過ぎても両チームGKの好セーブもあり、一進一退の攻防。前半20分を過ぎても互角の戦いが続き、愛知7番藤井が奮闘するも負けじと氷見13番安平が返す。双方とも退場者を出したが、懸命のDFで凌ぎ前半は12—12の同点のまま終了。前半終了直前に前半終了直前に退場者を出した愛知高校だが、氷見高校に勝ち越しを許さず予断を許さない展開が続く。後半10分を過ぎても、点差が1点差、2点差と息詰まる攻防。両チームともスピード溢れる攻撃を武器に相手ゴールを狙い果敢に攻める。残り7分愛知高校3番林の連取で2点のリードとなるが、氷見高校5番朝野の気迫溢れるシュート、7番窪田のポストシュートで再び同点。2連取しリードを広げたが愛知も1点差とする。残り24秒リバウンドを氷見高校が決め、この熱戦の幕が閉じた。

2017年 3 月 27 日

記載者氏名 横内 靖 幸